

先日、にじ・ひかりぐみのお部屋で子どもたちと遊んでいました。座りながら近くの子たちと遊んでいると、ひかりぐみのAちゃんとBちゃんも黄色いアイスのおもちを持ってきてくれました。私はパクッと食べる真似をして、何気なく「なにあげてますか？」と聞いてみます。Aくんは「だハッキリ話せず「んこ」と。あれ？「う〇〇」って言った？」と。歳児が言うかな？と頭の中でグルグルと考えていると隣のBちゃんが「みかん！」と言ってくれました。その後すぐにAくんも「みかん！」と今度ははつきりと言ってくれました。1歳児の口の動き的にみかんが違ふ言葉に聞こえてしまったようです。私一人で笑ってしまい、Aくんは不思議そうです。(園だよりの冒頭から何言ってるんだと怒られそうな話です。すみません。)

今月の予定

交通安全教室<年長児> 11/7(木)

今回は年長児のみの参加です。教化員の皆さんと実際に公道を歩きながら、交通ルールについて教えていただきます。目的地を牛久市役所に設定して歩いていきますよ!

三園合同交流会<年長児> 11/8(金)

つつじが丘保育園さんの園庭をお借りし、ふたばランド、つつじが丘ふたばランドの三園の年長児が集まって運動会ごっこをおこなう予定です。

カレーライスの日 11/15(金)

今月もおいしいカレー・サラダ・フルーチェを作ります。先月から年長児の係に「配膳・盛付係」が加わりました。にじ、ひかり、ほし、だいちに行って給食配膳のお手伝いをしますよ!

おべんとうデー 11/20(水)

毎月子どもたちのためにご協力いただき本当にありがとうございます。お家の方の愛情がたっぷり詰まったおべんとう。子どもたちは笑顔でとっても良い顔して食べています。見ているこちらにも幸せです!

誕生会 11/28(木) 10:00~

11月生まれのお友だちの誕生会です!自分の誕生日を祝ってもらう喜びはもちろんのこと、友だちの誕生日を自分のことのように喜んでお祝いしている子どもたちです。この気持ちを大切に過ごしてもらいたいものですね。

Table with medical checkups: 歯科検診 11/21(木) 14:00~, 内科検診 11/26(火) 14:30~, 尿検査 11/29 検査キット配布 12/4 提出日

★お知らせ・★お願い

★早朝・延長、土曜日保育申請書について

早朝・延長保育、土曜日保育を利用のご家庭の皆様、毎回お忙しい中申請書のご提出をありがとうございます。申請書の提出期限を利用の前月20日までとさせていただきます。以前に比べると皆様の意識はとてもしっかりと守られていますが、まだ期限から遅れてしまうご家庭もチラホラと見られます。期限を守っているご家庭がある一方、守らなくても利用できるという事実ができてしまっています。そこで、大変心苦しいですが、今後につきましては、20日以降の申請書の提出は受け取らないこととさせていただきます。早朝・延長、土曜日と勤務の都合がおありのことは重々理解しております。20日までに予定が不明確な場合はご相談いただければ対応いたします。また、20日が土日祝日の場合は、休みの次の日までといたします。

★上着、服装についてのお願い

少しずつ肌寒い日が増えてきました。戸外遊びや避難時に着用する上着持参のお願いをさせていただきます。上着は「モコモコしていないもの(フリース・ダウン以外)」「フードがないもの」に記名をしてクラスのハンガーにご用意ください。一方、室内での活動では暑くなることも多いため、引き続き薄手の衣服、半袖の補充をお願いいたします。

☆園内空調設備入れ替え工事の完了!

一ヶ月という長い期間を掛けた工事が終了しました。沢山のご協力・ご理解をいただきありがとうございました。

☆調理員 河村 住子(かわむら すみこ)さんが10月から勤務しております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

☆栄養士 椎名 千明 が一身上の都合で10月をもって退職となりました。献立につきましては、つつじが丘ふたばランド保育園の栄養士が本園と兼務しておりますので、ご安心いただけますと幸いです。

☆てくてくミュージアム(仮称・作品展)のお知らせ 12月5日(木)~7日(土)に開催します。詳細は後日手紙にてお伝えいたします。

「みんな一緒にいい時」 私達大人は、個性や価値観の多様性を尊重すると言いつつ、多様性を尊重すると言いつつ、不安になったり、落ち着かなくなったりしがちです。だから、いつもみんなと同じかどうか、そろっているかどうか心配します。そして、集団が整っていることを重視します。しかし、集団生活のルールは守らなければならぬこと、自分勝手な我が儘は許されないことは当然のこととして、揃っているか整っているかより、一人ひとりが自己充実しているか、自己発揮しているかこそが大切なことだと思えます。だから、みんな同じでなくてもいいと思うのですが、「みんな一緒」の方がいい時もあります。▼今年も筑波登山に出掛けました。曇りの予報でしたが、思い切って出掛けました。ミストサウナのような濃霧の中で「追い越し禁止、岩に登らない、ゆつくりと登る」と伝えて登り始めましたが、早い子はドンドン追い越して前に出たがりました。危険なので声を枯らして注意を続けたのでいつもより疲れしました。▼数年前にハンデイのあるTちゃんと一緒に登った時の事を思い出しました。元気の良いグループは先を争って登るので、頂上付近のお弁当を食べる場所に着く頃には、先頭集団と最後尾とでは、かなりの時間の開きが出てしまっています。着くとすぐに、「飲み物は飲んでいいよ」と言いました。しばらくすると、子ども達も「お弁当を食べたい?」と何度も聞いてきました。早く登った子は、体調も良いので、食べるのも早いのに、遅れてきた子は、疲れ切っているのか、食べるのも遅くなり、ますます遅れてしまうことになりました。時間も早いし、寒くて待ちきれないという状況でもありませんでした。私は、「一緒に登ったふたばの仲間が、早くみんなに追いつこうと、調子が悪くて、苦しみながら登っている子も、足が弱くて、フラフラしながら頑張っている子もいるんだ。待ってあげようよ。」と言うと、子ども達は「うん、わかった。待っている。」と言ってくれました。▼私は、今来た道を迎えに戻りました。山道を下つて来る大きなT先生とハンデイのある小さなTちゃんの姿が現れました。私が手を差し出すと、Tちゃんはそれを振り払いました。「自分の力だけで登るんだ」という強い意志を感じました。待っている子ども達も、総出で迎え「Tちゃんガンバレ」コールが上がりました。Tちゃんはオリンピックのマラソン最終走者のように、ヨロヨロしながら両手を挙げて応えましました。そして「みんな一緒に」におにぎりを食べました。

理事長 浅田 精利